

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2025

4

vol.328

ありがとう!! 旧酪王乳業(株)本社工場

49年間、牛乳乳製品の製造お疲れさまでした



TOPICS

- ・東北酪農青年女性会議酪農発表大会（宮城県）開催… ②～④
- ・令和7年度用途別生乳取引価格の期中値上げについて… ⑤

東北酪農青年女性会議主催

第52回 (令和7年度) 東北酪農青年女性会議酪農発表大会 (宮城県) 開催!!

7月に岡山県で開催される全国酪農青年女性酪農発表大会に
東北代表として、椎谷 美保さん (福島県)、羽隅 匠さん (山形県) が出場

経営発表の部

「20代後世でも続けられる酪農経営を」

山形県酪農青年女性会議 羽隅 匠さん



意見・体験発表の部

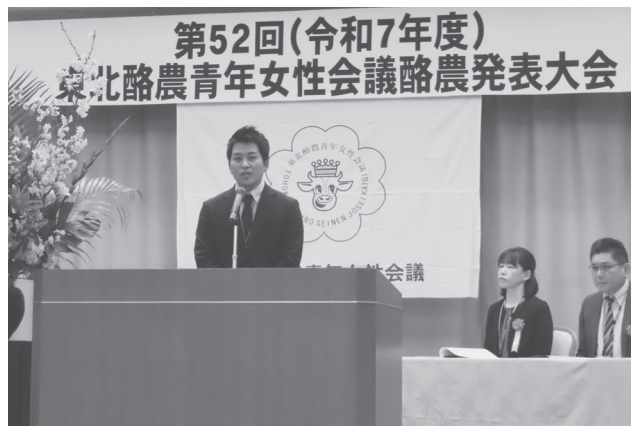
「牛の幸せは私の幸せ」

福島県酪農青年研究連盟 椎谷 美保さん



令和七年三月二十四日 (月)に宮城県仙台市「ホテルニュー水戸屋」において、東北酪農青年女性会議(斎藤忠義委員長)主催の第五十二回酪農発表大会が開催され、東北各地から一二〇名の酪農・関係者が参加いたしました。

始めに、経営発表の部では「二十代後世でも続けられる酪農経営を」と題して、山形県酪農青年女性会議の羽隅匠さんが発表いたしました。羽隅家は匠さんで丁度二十代目の節目であり、酪農は曾祖父の代から始まりました。匠さんは大学を卒業後就職し、現在は奥さんと両親の四人で酪農を営んでいます。「行ってみよう!やってみよう!」の精神で講習会や牧場視察には積極的に参加し、講習会がきっかけでゲノム分析を開始しました。ゲノム分析に加えて、山形県畜産研究所から「プレミアム受精卵」を購入し



東北酪農青年女性会議

斎藤忠義委員長挨拶

移植を行い、生まれた牛はTPI、NM\$とも数値が非常に高く、より一層牛群の改良に力を入れていき、将来的には受精卵移植の免許も取得し、積極的に取り組みたいです。

また、就農以降牛舎環境の改善にも力を入れており、昨年インバータ式扇風機を補助事業で導入し、令和四・五年と比較して夏場も乳量が落ちることなく個体乳量が大きく伸びており、分娩時の事故等もなく分娩後の立ち上がりもスムーズでした。



椎谷美保さんの発表風景

大学の卒業研究は羽隅牧場の課題解決をテーマに取り組み、飼料の栄養バランスが悪かったことで多くの課題があったため飼料設計を行いました。その経験を活かし、卒業後も全酪連と連携し何度も飼料の見直しを行った結果、乳量が安定的に上昇し、繁殖成績も改善しています。

今後は育成牛舎を改築し、ゲノム分析によって生まれた優秀な育成牛を多く飼養できる環境を整

え、初妊牛の個体販売にも力を入れ、また、両親も高齢となり家族四人で経営していくことも厳しくなる日を考え自動給餌機を導入して省力化を目指し、子供たちが酪農をやりたいと思ってもらえるように環境を整え、二十代後世の羽隅家でも酪農を続けてもらいたいと発表いたしました。

審査員からは将来に向けたビジョンとそれを実現するための理念も考えて「行ってみよう！やってみよう！」の行動

力で実現に向けてほしいと、講評をいただきました。

続いて、意見・体験発表の部では「牛の幸せは私の幸せ」と題して、福島県酪農青年研究連盟の椎谷美保さんが発表いたしました。美保さんは非農家出身で酪農家の旦那さんと出会って、時間を見つけては牛たちに会いに行き、牛舎の片づけをしたり、掃除をしたり、牛舎が整うと気持ちがいい

たことと、二人とも結婚したら、「一緒に酪農をやりたい」との思いから結婚と同時に仕事を退職し、就農しました。

就農当初は酪農についての知識がなかったため、仕事の合間に勉強をしました。その中でアニマルウェルフェアの考えを知り、動物も人間もみんなが満たされ、心身共に幸せで豊かになることが大切だという考え方を自分の牧場でも取り入れてみたいと思うようになりました。

しかし、昔からのやり方があり、それを否定することはできず、まずは自分だけでも牛の幸せのために取り組もうと考え、牛に名前を付けることから始めました。最初は「名前をつけたって意味がない」と言っていた旦那さんもいつしか牛たちを名前と呼ぶようになり、今では子牛が産まれると自分から名前をつけるようになり、さらには、一緒に牛舎の片づけをしたり、掃除をしたり、牛舎が整うと気持ちがいい

し、仕事もやりやすく、進んで取り組んでくれるようになりたい。牛舎が清潔になることで肺炎等の病気が入りまし

た。牛舎が清潔になることで肺炎等の病気が入りまし

た。そんなある日、旦那さんから「牛がかわいくなってきた。ありがとう」と、うれしい言葉をかけてくれました。家族とは酪農への想いや取り組みに距離がありました。毎日一緒に牛たちの世話をしている中で少しずつ、理解と協力が得られるようになり、ますます酪農という仕事が好きになり、もっと頑張ろう!!とやりがいが出てきました。いつもより添ってくれる旦那さんへの感謝の気持ちも会場のみなさんにも伝わりました。

また、哺育については子牛が病気になるように気を付けており、子牛が初めて口にする初乳はすべてデジタル糖度計を使って、Brix値を



質疑応答

経営発表の部 山形県酪農青年女性会議 羽隅 匠さん(左)
意見発表の部 福島県酪農青年研究連盟 椎谷 美保さん(右)



東北酪農発表大会には
東北各地から120名の酪友・関係者が集まりました

一つ目は牛をしつかり
見ることができており、さ
らに乳房炎が減ったこと
で個体乳量が伸び、哺育
で手をかけた結果もセリ
に結びついていると実感
しています。

二つ目は牛たちが作業
に協力的になり、搾乳や
移動など、普段から牛を
大切に扱うことで牛との
信頼関係が築かれ、作業
がスムーズで時間短縮に
つながっています。

三つ目はアニマルウェ
ルフェアを取り入れたこ
とで牛たちがとても愛お
しく、仕事中に笑顔が多
くなり、仕事がどんどん
楽しくなっています。酪
農の仕事は時につらいと
思う時もありますがそれ
を上回る楽しさがありま
す。その一方で牛の
幸せを考えるとこま
めな掃除や豊富な敷
料、快適に暮らすた
めには時間コストや
設備投資コストがか
かることが課題とな
りますが、牛の頑張
りで得た利益は牛た
ちに還元していきこ
うと考えているのでこ
の課題にも向き合い
取り組んでいきたい
と思っています。

今、できることか
ら少しずつ始めるこ
とが大切だと考え、

牛の立場になり愛情と思
いやりをもつて踏み出し
た一步が牛の幸せにつな
がるように、さらには牛
たちがいつも幸せに暮ら
せる環境を作っていきた
いと考えています。

これからの椎谷牧場は
どこを目指し、どんな牧
場にしていきたいか、旦
那さんと話し合い、「牛
と人が幸せな酪農」を実
現し、しあわせな牛乳で
人々に笑顔と健康を提供
する、と、理念を定め、
この理念を忘れずに健一
さんと一緒に歩んでいき
たい、さらには、アニマ
ルウェルフェアの認証や
教育ファームの認証取得、
牛たちの為に運動場の整
備にも取り組んでいき
たいと発表いたしました。

審査員からは美保さん
の牛が大好きだという気
持ちは全国でも大いに表
現してほしいと講評をい
ただきました。全国大会
において、美保さんの酪
農に対する思い、牛たち
への思いを発表してい
ただきたいと思います。

七月十七日(木)十八日
(金)に岡山県岡山市「ホテ



発表者の椎名さんと、福島からの参加者との集合写真

ルグランヴィア岡山」で
開催される全国酪農青年
女性会議主催の全国酪農
発表大会に東北代表とし

て、羽隅匠さん、椎谷美
保さんが出場いたします
ので、引き続き、応援を
よろしくお願いします。

販売課

令和7年度用途別生乳取引価格の期中値上げについて

(消費税・成分加算除く)

生乳取引価格については、令和7年6月1日取引分から脱脂粉乳・バター等向け3円/kg(うちバター向け7円/kg)及び生クリーム等向け3円/kg(うち生クリーム向け7円/kg)の値上げが、令和7年8月1日取引分からは飲用向け及び発酵乳等向け4円/kgの値上げが、令和8年4月1日取引分からは学乳向け4円/kgの値上げが決定されております。

取引用途		現行価格+〇円(kg)	改定時期
牛乳等向け	飲用向け	+4円	令和7年8月1日取引分～
	発酵乳等向け	+4円	
	学乳向け	+4円	令和8年4月1日取引分～
乳製品向け	①脱脂粉乳・バター等向け	+3円	令和7年6月1日取引分～
	(うちバター向け)	①+7円(総額10円)	
	②生クリーム等向け	+3円	
	(うち生クリーム向け)	②+7円(総額10円)	
チーズ向け(ソフト・ハード)		+3円	
※乳製品向けは、北海道の価格改定に準じた値上げ。			

購買畜産課

令和7年4～6月の牛用飼料価格について

令和7年度第1四半期(令和7年4月～6月)の牛用飼料(配合・哺育)につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額(令和7年1～3月期対比)

(1) 牛用配合飼料 トン当たり

500円値下げ

(2) 牛用哺育飼料 トン当たり

45,000円値上げ

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしは、3月11日の米国農務省の需給予想において、2024年産の生産量は148億6,700万ブッシェル(3億7,764万トン、前年比96.9%)、単収は179.3ブッシェル/エーカー、総需要量は151億1,500万ブッシェル(3億8,394万トン)、期末在庫は15億4,000万ブッシェル(3,912万トン)、在庫率は10.19%と発表されました。

シカゴ相場は1月の単収の下方修正により期末在庫が大きく減少したことから大幅に値を上げました。直近では米国の関税政策や南米の天候改善により弱含んで推移しています。

大豆粕は、南米大豆収穫遅延に伴う中国への南米産大豆の入船の遅れから、中国産の需給が逼迫し、産地価格が高騰する時期もありましたが、現在は米国・ブラジルでの豊作見込みからシカゴ相場は軟調に推移しています。

続き堅調な一方で、主製品の発生期であることから相場は横ばいから若干弱含んで推移しています。ふすまは飼料向け需給が安定していることから相場は横ばいに推移しています。

脱脂粉乳は、欧州産やオセアニア産の生乳生産量は好調に推移しているものの、東南アジア向けの需要は依然強いことや米国産の生乳生産量が減少していることから相場は堅調に推移しています。

海上運賃は、旧正月明けの中国の需要が急増したことから高騰しており堅調に推移しています。

為替相場は日銀の追加利上げにより、日米金利差の縮小が意識されドル安/円高基調となっていますが、中期的には安定して推移しています。

以 上

糟糠類は、グルテンフィードは飼料需要が引き

ありがとう!! 旧酪王乳業(株)本社工場 (現酪王協同乳業(株)郡山工場)

令和7年3月31日、酪王協同乳業(株)郡山工場が長い歴史に幕を閉じました。昭和51年4月に福島県酪連市乳工場として竣工した旧酪王乳業(株)本社工場につきましては、生産者と消費者を結ぶ懸け橋として、49年間もの長きに渡り、県民に愛されるご当地ブランド「酪王」の牛乳乳製品を製造してきました。

令和3年10月1日には、旧東北協同乳業(株)と新設合併し「酪王協同乳業(株)」が設立され、この度、令和7年4月1日に稼働開始する本社工場へ全ての製造機能・経営理念が受け継がれます。

先人から受け継いできた県産乳製品の誇り、酪王カフェオレをはじめとする自慢の風味をこれからも大事に守り続けながら、酪農家の為の農協プラントとして新たな門出を迎える酪王協同乳業(株)の今後益々のご発展をご祈念申し上げますと共に、長い間本当にありがとうございました。



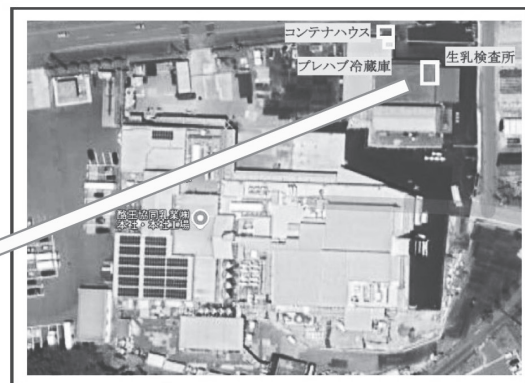
酪王まつりなど、たくさんの思い出をありがとう！旧酪王乳業(株)本社工場（現酪王協同乳業(株)郡山工場）

～福島県生乳委託者委員会「生乳検査所」開所～

去る4月1日、酪王協同乳業(株)本社工場敷地内に福島県生乳委託者委員会が設置した「生乳検査所」が業務開始致しました。従来、残留抗生物質検査においては、午前集乳コースは当日検査結果開示、午後集乳コースは翌朝検査結果開示でありましたが、今後は集乳時間に関係なく、すべての検体が当日検査結果開示となります。僅かではございますが、個体の損失乳量抑制につながり、酪農経営に寄与できればと期待しているところです。

「生乳検査所」は、より一層の検査業務の拡充並びにCS経費負担軽減に向けた生産者団体の垣根を超えた新しい取組みとなりますので、是非ご活用下さい。

- 【名 称】 福島県生乳委託者委員会「生乳検査所」
 【住 所】 本宮市荒井字下原 56 番地（酪王協同乳業(株)本社工場敷地内）
 【電話番号】 0243-24-5011
 【FAX番号】 0243-24-5012
 【営業時間】 8：30 ～ 17：30
 【業務内容】 ①依頼検査（残留抗生物質検査・血乳検査他）
 ②サンプル瓶洗浄業務
 ③サンプル瓶発送業務
 ④放射性物質検査（コース乳、バルク乳）
 【検査結果】 ・スマホ、PC → Web 開示システム
 ・FAX 希望者 → BizFAX 一斉送信
 ・端末未所有者 → 電話通話（基本1回のみ。不在の際は自ら連絡し結果取得）
 【そ の 他】 ◎全検体当日開示の為、本館1階玄関脇の検体受付BOXは廃止とする



酪王協同乳業(株)本社工場敷地内(北東側)



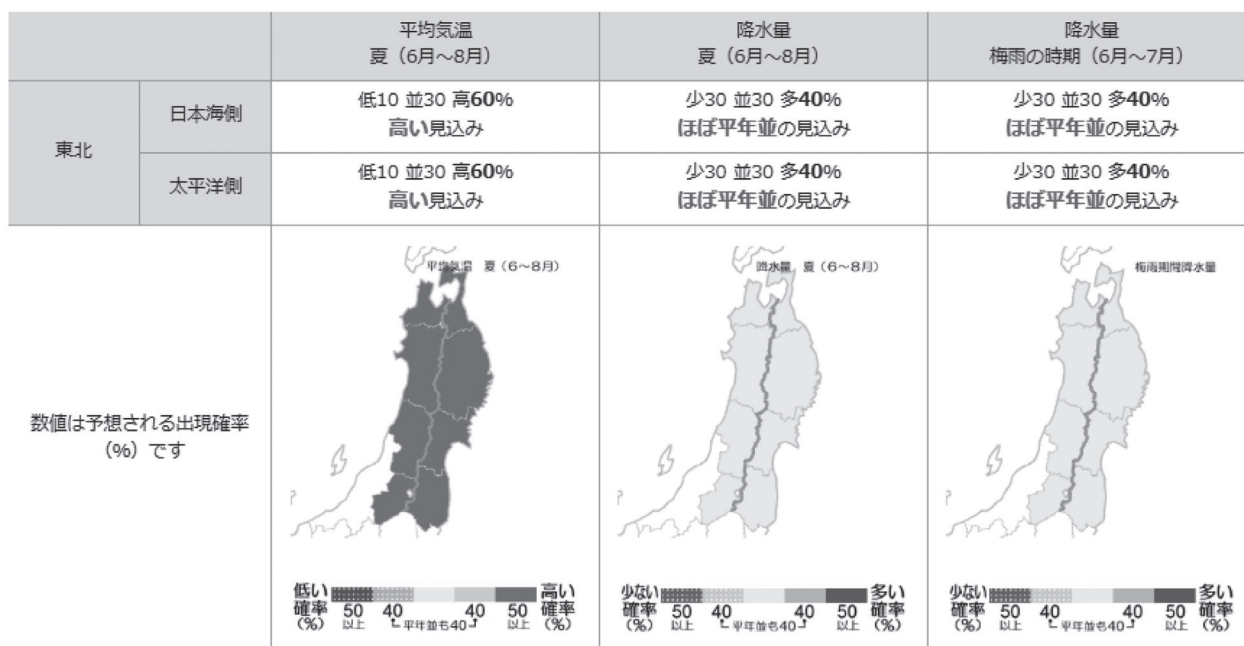
全酪連の小窓 4月号 ～今年の暑熱対策はいつから～



桜の見頃も迎え、暑さも感じてくるようになりました。これから気になってくるのは今年の暑さがどの程度かということでしょうか。今月号は、弊会で取り扱っている暑熱対策製品のご紹介です。牛舎環境での対策も必要となりますが、手軽に始められる製品から取り組んでいただければ幸いです。

2025年の天気予想

気象庁が2月に発表した2025年夏（6～8月）の暖候期予想では、6～7月は曇りや雨の日が多くなり、その後は晴れの日が増えてくるとのことです。平均気温は高い確率が60%と今年も猛暑を示すような内容となっています。ただ、エルニーニョ・ラニーニャ現象の発生確率はどちらも同じ10%と偏っていないため、昨年にと比べると暑さは落ち着くのではないかと予想されています。



参考：気象庁 | 季節予報

今年の猛暑対策

まずは牛を倒さないことが一番ですが、乳量を維持する、または伸ばすためには個体乳量の底上げが重要になってきます。個体乳量を伸ばす一つの方法として乾乳管理の改善が挙げられます。乾乳期間中のDMIや牛のコンディションなどが分娩後の生産量に直結しますが、この期間中に暑熱ストレスを受けていると、DMIの減少（▲約2 kg/日）や生乳生産量の減少（▲約5 kg/日）に繋がります。県酪だよりの月別分娩予定頭数では5・6月は乾乳期間に入る牛が多く、ちょうど気温が上がってくるタイミングと重なります。今回は暑熱対策として有効となる製品をご紹介します。ぜひご活用ください。

ZENRAKUREN

Your Partner 全酪連

DMI対策



濃厚飼料の選び食い等によるアシドーシス対策やDCAD値を高めることによるDMI改善などに効果が期待できる重曹製品(乾乳期間は給与しない)

活性型酵母と麹抽出菌によるルーメン微生物の活性化が期待できるプロデイリー・アクティ

乳量・乳質対策



パルミチン酸を多く含むベルガファットやビタミンAを高単位で含有したソマデックAE

繁殖対策



リノール酸を多く含むバイパスメイトやビタミンADEを配合したすこやかフーズセル

作業効率

搾乳作業や機械作業時、その他作業の負担軽減にワーキングスーツ



ご不明な点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN

Your Partner 全酪連

ZENOAQ コーナー Vol.244

効果的な
サシバエ成虫対策について

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

暖かい気候になり花見の季節になりましたが、ハエのシーズンが始まることも意味しています。

春先のハエは数匹見られる程度ですが、このハエが産卵する卵たちは夏場のハエに繋がってきます。

春先にハエを駆除する、幼虫対策することは夏場の大発生を防ぐために非常に重要な役割をしていますので、ぜひ春からの幼虫対策実施をご検討ください。

今回は以前ご紹介させていただきましたサシバエの話と対策の続編になります。

写真1：横から見たサシバエ



サシバエ成虫対策：殺虫剤の噴霧

前回サシバエとイエバエの成虫の見分け方をご紹介しました。

改めて、簡単に見分ける方法、両者を上から見た写真（右）になります。

写真2：サシバエ



写真3：イエバエ



サシバエの場合

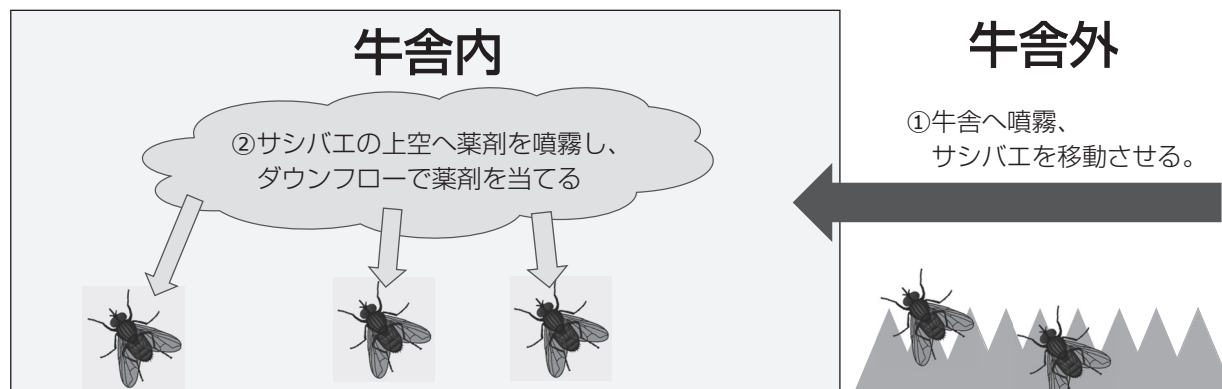
- ・上から見た時：ストローのような部分が頭から見えている。
⇒イエバエは何も出ていない。
- ・横から見た時：腹部を下にして斜め上を向いている。
⇒イエバエは留まっている面に対して体が並行になっている。

また、普段生息している場所も少し異なっており、イエバエは飼槽や日の当たる暖かいところ、（温くなる）機械など、サシバエは牛舎の柱（特に外側）、牛舎周りの草むらなどでよく見かけます。

イエバエの場合は比較的牛舎内にいることが多いですが、サシバエは吸血時以外は牛舎内にいないこともあるため、散布タイミングに注意しなければなりません。

そのため、効果的な駆除方法として、草むらあたりから牛舎に向かって噴霧してサシバエを牛舎内へ移動させた後、カーテンなどを閉め切って牛舎内を噴霧するとより多くのサシバエも駆除することができます。

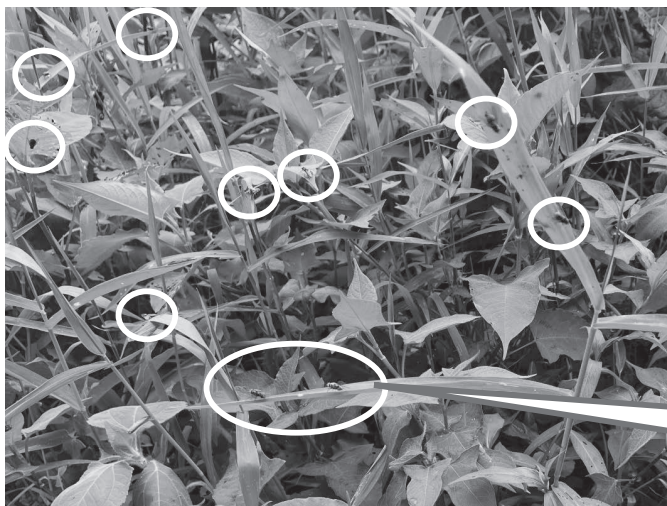
下図はサシバエ駆除のイメージですが、牛舎内での噴霧方法はイエバエ対策にも共通します。



下の写真は牛舎のすぐ外側に生えている草むらの様子です。

写真だとサシバエはかなり小さいため分かりにくいかもしれませんが、前ページのサシバエの見分け方より簡単に判断できると思います。

この写真のようにサシバエは牛舎外にも留まっているため、吸血するために牛舎内に入ってくる朝夕の時間帯に殺虫剤を噴霧するなどタイミングには気を付けなければなりません。



斜め上を向いているので、サシバエであることが分かります。

(他の○部分も同様にサシバエです。)

サシバエの成虫駆除はタイミングが重要であることをご説明しましたが、田畑の作業が入ってくるとサシバエ対策どころではなくなり更に農場内で成虫が増える環境になってしまいやすいと思います。

また、ハエは幼虫などの方が圧倒的に数が多いため、成虫を駆除しても夏場は1週間足らずで元の状態に戻ってしまうと思います。

特にサシバエの場合は、牛に吸血ストレスを与えるため忙しくても牛のために殺虫剤を噴霧される方が多いのではないのでしょうか。

そこで、夏場皆さんの代わりにサシバエ対策を実行してくれるのが以前ご紹介させていただいた「ペルネットBK6」になります。

ペルネットBK6の利点としまして、設置するだけで殺虫剤噴霧より長期間牛舎内の密度を抑えることが可能です。

また、殺虫剤ではサシバエの生態に合わせて噴霧するタイミングが重要ですが、ネットのため生態などは気にすることなく設置するだけで効果的に対策することが可能です。

ただし、設置の際は下記ポイントにご注意いただきますようお願いいたします。

- ・ ネットは地面から（隙間を空けずに）設置してください
⇒サシバエは下からの方が侵入しやすいです。
- ・ 牛が食べたり、触れないよう設置してください
⇒薬剤の安全性は高いですが、牛にネットを破られる可能性があります。
- ・ 設置した次の年は新しいネットに張り替えてください
⇒ネットの効果期間は約6ヵ月間になります。

最後に

サシバエは疾病の機械的伝播なども確認されていますが、牛に対して吸血ストレスを与える「敵」になりますので、対策に興味があればぜひお気軽にご連絡ください。

令和6年度2月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、130円39銭9厘で前年より13銭4厘下回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,279,712千円 単価127.973円
 ■内 福島県分プール乳代金① 476,393千円 単価127.973円
 プール対象外乳代金② 97,016千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 573,409千円 単価133.044円

項 目	令和7年2月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	128円935	129円031	-0円096	117円777
補給金単価	1円126	1円151	-0円025	1円045
集送乳調整金単価	0円338	0円351	-0円013	0円327
合 計	130円399	130円533	-0円134	119円149

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体2月)

用 途 別	販売乳量 (ト)	日 量 (ト)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	23,554	841.0	97.2	65.9	65.6
加工向け	3,981	142.0	92.9	11.1	11.6
学校給食向け	2,291	82.0	92.9	6.4	6.7
醗酵乳向け	5,376	192.0	100.3	15.0	14.5
生クリーム向け	413	15.0	103.5	1.2	1.1
チーズ向け	119	4.0	65.7	0.3	0.5
合 計	35,733	1,276.0	96.8	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

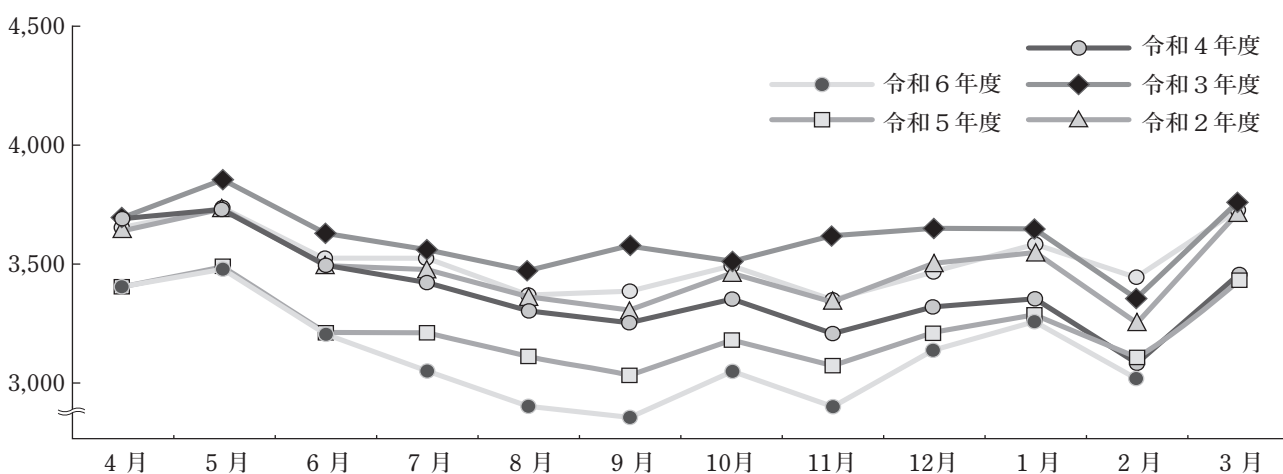
北海道：99.3%、都府県：95.3%

団 体 名	2 月 分		
	受託乳量 (ト)	日 量 (ト)	前年比 (%)
県 酪 協	3,034	108.4	96.2
全農福島県本部	1,277	45.6	92.8
合 計	4,311	154.0	95.1
東北生乳販連	35,733	1,276.2	96.8
全 国	540,211	19,293.3	97.6

月別受託乳量 県酪協(トン)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981	2,897	3,078	2,990	3,141	3,266	3,034		
前年比%	99.9	99.6	99.7	95.1	95.6	95.4	96.7	97.4	97.1	99.0	96.2		

単位・トン



令和6年度受託乳量の状況

令和7年2月の受託乳量は、県全体で前年比95.1%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,034ト、前年比96.2% (対前年同121ト減)、全農県本部は1,277トの対前年比92.8%

(対前年同月99ト減)の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比96.8%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比97.6%となりました。

令和6年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で醗酵乳向けが100.3%、生クリーム向けが103.5%と上回り、飲用向けが97.2%、加工向けが92.9%、学校給食向けが92.9%、チーズ向けが65.7%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和6年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比23銭引き上げの「8円92銭」、集送乳調整金を同3銭引き上げの「2円68銭」、総交付対象数量については、前年度比5万トン減の「325万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比26銭上げの「11円60銭」

となります。補給金単価の上げ要素としては、飼料費と副産物価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均26.3ト（前年比55.8%）で、本組合生産量の24.3%、県全体生産量の17.1%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136	133.294	132.236	132.474	128.774	129.667	130.399		
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和7年2月28日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当たり頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 22	戸 24	% 91.7%	頭 378	頭 178	頭 123	頭 365	頭 743	頭 1,231	頭 1,787	頭 1,834	% 97.4%	頭 81.2
県 中	43	48	89.6%	244	79	154	312	663	1,129	1,452	1,543	94.1%	33.8
浜	6	6	100.0%	99	34	24	63	111	198	331	320	103.4%	55.2
県 南	29	32	90.6%	570	211	188	510	975	1,673	2,454	2,574	95.3%	84.6
合 計	100	110	90.9%	1,291	502	489	1,250	2,492	4,231	6,024	6,271	96.1%	60.2

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和7年 3月	令和7年 4月	令和7年 5月	令和7年 6月	令和7年 7月	令和7年 8月	令和7年 9月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛
県 北	頭 94	頭 85	頭 59	頭 66	頭 108	頭 116	頭 138	戸 19	kg 32,696	kg 1,721	kg 29.5	kg 26.6
県 中	105	56	49	49	73	68	145	42	26,079	621	26.7	23.1
浜	15	8	13	15	27	22	21	6	5,498	916	31.6	27.8
県 南	132	117	92	99	126	131	212	28	44,061	1,574	29.7	26.3
合 計	346	266	213	229	334	337	516	95	108,334	1,140	29.0	25.6

第353回 県酪協乳牛市場成績

令和7年3月13日開催

購買者数 33名（うち県外15名）

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	13 (100)	437,000 330,000	397,077 (126)	108 (110)	3,690 (114)
	雄	25 (93)	697,000 335,000	520,200 (135)	110 (100)	4,719 (135)
乳牛	雄	26 (100)	108,000 5,000	76,808 (211)	75 (104)	1,027 (202)
交雑牛	メス	44 (100)	243,000 103,000	186,705 (127)	70 (92)	2,660 (138)
	雄	57 (100)	258,000 138,000	208,719 (119)	79 (99)	2,630 (120)
初妊牛		7 (100)	701,000 326,000	547,000 (131)		
搾乳用雌子牛		13 (100)	295,000 94,000	161,846 (101)		

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

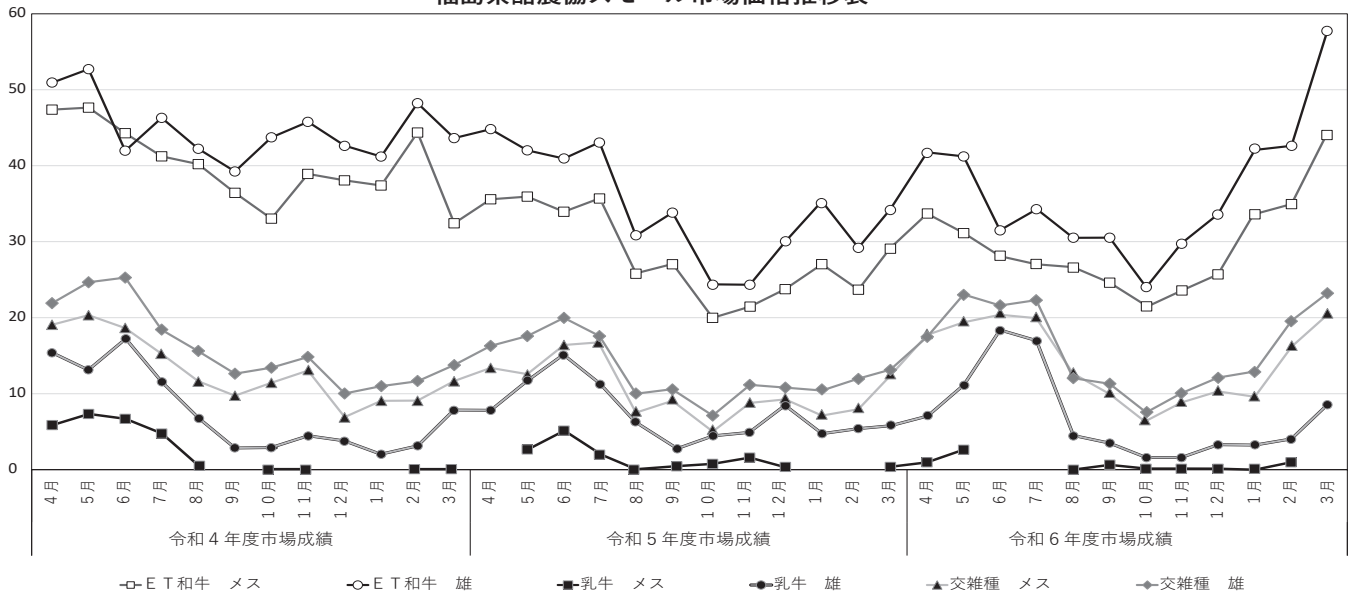
価格帯別分布表

(0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																											
		<39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	～	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	～	67	68	69			
ET和牛	メス	5	5	1		2																							
	雄	2		1	1		1		2	1	2		4	3		1	1	1	1	1		1		1			1		
乳 牛		0	<1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
	メス																												
	雄	1	1		1	1	1	3	2	8	3	5																	
交雑牛		<8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32			
	メス			1			1	2		4	4	7	11	11	2			1											
	雄						1	1		1	1	6	9	12	6	6	8	5	1										
初妊牛		<32	～	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	～	65	66	67	68	69	70			
		1		1										1	1		1		1							1			
搾乳用雌子牛		<5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29			
						1		2	3		2	1						1		1		1				1			

単位：万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 3 月

3月3日	東北生乳販連生乳受託販売委員会	3月21日	FD24会県中支部研修会
3月4日	全酪連理事会・監事会	3月24日	県農業会議常設審議委員会
3月5日	酪政連通常総会・中央委員会	3月24日	東北酪青女 東北酪農発表大会(宮城県)
3月6日	東北生乳販連理事会	3月25日	ヘルパー新団体設立総会
3月6日	県獣医師連盟役員会	3月25日	県生乳委託者委員会
3月6日	県獣医師会理事会	3月26日	第11回理事会
3月7日	酪王協同乳業(株)取締役会	3月26日	東北生乳販連個人別乳代精算専門部会・事業推進委員合同会議
3月11日	県酪女性部やまびこ会監査会・決算役員会	3月26日	(株)らくのう乳販取締役会
3月11日	全酪連ブロック別会長・組合長会議	3月27日	東北生乳販連理事会・臨時総会
3月12日	県中央支部正副支部長会議	3月27日	経営検討会
3月13日	乳牛せり市場	3月28日	シャインコースト(株)臨時株主総会・取締役会
3月17日	県畜産振興協会理事会	3月28日	酪青連決算役員会・酪農研究部決算役員会
3月18日	県農業振興公社理事会	3月31日	シャインコースト(株)入社式
3月19日	JAグループ農畜産物損害賠償対策 県協議会総会	3月31日	辞令交付式
3月19日	臨床研究会		
3月21日	県生乳委託者委員会幹事会		

理 事 会

第11回 令和7年3月26日

議 案

報告事項

- | | |
|--|--|
| <p>第1号議案 令和7年度事業方針並びに計画立案骨子について</p> <p>第2号議案 令和7年度乳価構成テーブルと細菌数・体細胞数の乳質格差並びに自主規制実施要領について</p> <p>第3号議案 令和7年度余裕金預入先金融機関並びに運用方法について</p> <p>第4号議案 令和7年度一組合員に対する貸付金並びに貸付金利率最高限度について</p> <p>第5号議案 特別積立金の取り崩しについて</p> <p>第6号議案 令和7年度事業資金の借入並びに最高限度決定について</p> <p>第7号議案 令和7年度乳牛導入に係る貸付金額条件の緩和について</p> <p>第8号議案 子会社の資金借入に係る債務保証について</p> <p>第9号議案 就業規則及び育児・介護休業に関する規則の一部改正について</p> <p>第10号議案 組合員慶弔慰内規の一部変更について</p> | <p>(1) 令和7年度職員定期異動等について</p> <p>(2) 福島県酪農ヘルパー協会設立時の役員選任について</p> <p>(3) 浪江町畜産施設工事の進捗について</p> <p>(4) 今後の日程について</p> <p>(5) 総会までの日程について</p> |
|--|--|

令和7年度定期異動・昇進・昇格・昇級・退職者

◆退職者（令和7年3月31日付）

氏 名	事 由	所 属
小 針 浩 一	依 願 退 職	経営管理部組織振興課 酪農ヘルパー
西 康 一	転 籍	復興牧場設立準備室

◆異動・兼解（昇進・昇格他含む）（令和7年4月1日付）

職 位	氏 名	新 任	旧 任
審 査 役	野 口 泰 幸	生産部部长	生産部部长兼 生産部指導推進課課長
副 考 査 役	平 尾 修	生産部生産指導課課長	生産部購買畜産課課長
調 査 役	岡 野 巧	生産部生産指導係長	生産部指導推進課主任
副 調 査 役	佐 藤 雄 介	生産部生産指導課	生産部購買畜産課地区担当
一 般 職 位	坂 本 あ ゆ み	生産部生産指導課	生産部指導推進課
一 般 職 位	根 本 美 和 子	生産部生産指導課	生産部指導推進課兼 購買畜産課
一 般 職 位	渡 邊 真 樹	生産部生産指導課	生産部購買畜産課地区担当
一 般 職 位	大 槻 咲 弥	生産部生産指導課	生産部購買畜産課地区担当
副 調 査 役	渡 辺 弘 美	生産部購買畜産課兼 浜事務所主任	経営管理部組織振興課兼 浜事務所主任
副 調 査 役	幕 内 裕 人	生産部指導診療所	生産部指導診療所県南事務所
一 般 職 位	梶 友 香	生産部指導診療所県南事務所	生産部指導診療所
副 調 査 役	佐 藤 偵 土 子	経営管理部組織振興課主任	経営管理部経営管理課
一 般 職 位	増 子 桂 子	経営管理部経営管理課	経営管理部組織振興課
副 調 査 役	津 守 君 枝	経営管理部付主任 (株)らくのう乳販出向	生産部購買畜産課地区担当

◆昇 進（昇格他含む）

職 位	氏 名	新 任	旧 任
副 考 査 役	佐 藤 隆	生産部購買畜産課課長	生産部購買畜産課課長代理
調 査 役	金 澤 章 博	生産部購買畜産課課長補佐	生産部購買畜産課地区担当係長

◆昇格・昇級

職 位	氏 名	新 任	旧 任
副 考 査 役	小 代 具 毅	生産部指導診療所県南事務所 係長（副調査役2等級）	生産部指導診療所県南事務所 係長（調査役3等級）
調 査 役	三 浦 愛 美	経営管理部組織振興課課長補佐 （調査役）	経営管理部組織振興課課長補佐 （副調査役）

◆昇格わたり

職 位	氏 名	新 任	旧 任
課 長	角 田 淳 也	わたり昇格2等級	
一 般 職 位	鈴 木 和 日 葉	わたり昇格4等級	
一 般 職 位	角 田 弘 樹	わたり昇格4等級	

◆新採用

職 位	氏 名	新 任
一 般 職 位	深 谷 舞	復興牧場設立準備室

新入職員 のご紹介



復興牧場設立準備室

●^{ふかや}深谷^{まい}舞

令和7年度4月より復興牧場設立準備室に配属になりました深谷舞と申します。

皆様のお役に立てるよう、精進して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

シャインコースト(株)入社式執り行われる

令和7年3月31日(月)浪江町幾世橋防災コミュニティーセンターにてシャインコースト(株)の入社式が執り行われました。今年度の新入社員は6名（1名は県酪農協からの転籍、2名は全酪連からの出向）となり、浪江町、南相馬市にて約108haの飼料作物生産に従事します。

また、牧場の建築状況については概ね50%程度の進捗率となっており、引き続き工事は順調に進んでいることを報告致します。



入社式



牧場建設状況

県中やまびこ会寄せ植え・竹細工講習会

県中やまびこ会（会長 斎藤麻貴子）では、令和6年12月16日(月)県中・田村方部で寄せ植え講習会を、令和7年1月23日(木)会津方部で竹細工講習会を開催しました。

寄せ植えでは、自分の感性や好みで色合いやバランスを考えて植え付けていき、どれも素敵で綺麗な仕上がりになりました。

竹細工「花かご」作りでは、竹ひごを十字に組んだ状態から編み込んでいく作業で、自分の感性や技術によって、人それぞれ少しずつ形が違い、自分だけのオリジナルの可愛い花かごが出来上がりました。

寄せ植えも花かごも皆、同じ材料を使っただけの製作でしたが、どれも同じ作品がなく一点一点が個性的で自己表現の場としても大変有意義な講習会でした。また皆で作ると楽しく会話も弾みストレス発散にもなり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

引き続き畜舎環境美化を目指し酪農へのイメージアップを図っていきたいと思います。



寄せ植え講習会



竹細工講習会

主催 全国酪農青年女性会議 / 全国酪農業協同組合連合会

in
岡山第
52
回

全国酪農青年女性 酪農発表大会

 令和7年
7/17 木
18 金

日程

7月17日 木

13:00~13:50 開会式
13:55~16:15 酪農経営発表
16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
16:40~18:15 酪農意見・体験発表
19:30~21:30 懇親会

7月18日 金

9:00~ 特別講演
10:20~11:40 審査講評・表彰式
11:40~11:50 閉会式

大会参加費

1名 **5,000円** (大会のみ) 1名 **15,000円** (大会・懇親会)
※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

会場

「ホテルグランヴィア岡山」

〒700-8515

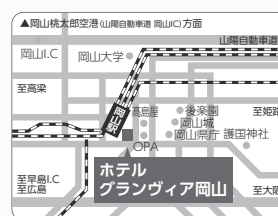
岡山市北区駅元町1-5

Tel 086-234-7000



アクセス

- 鉄道の場合
JR岡山駅2階からホテル直結。
中央改札口から徒歩1分。
- 車の場合
山陽自動車道 岡山ICから
約25分。
- 飛行機でお越しの場合
岡山桃太郎空港より車で
約30分。



特別講演


 ヨーグルトマニア (一社)ヨグネット 代表理事 **向井 智香 氏**

講演内容 土着的な乳の保存手段として数千年の歴史を持つ発酵乳ですが、日本の食文化に本格的に取り入れられたのはここ数十年のこと。商品の付加価値として工業的に取り入れられた側面が強く、菌の働きによる健康面へのアプローチが市場を賑わしています。本講演ではヨーグルトが日本の食文化として成熟する上で重要な要素として取り扱われるべき「乳」と「クラフトマンシップ」に焦点を当て、消費者とともに日本の農の未来を作る食の在り方について考察します。

プロフィール SNSで3,100種類超のヨーグルトをレビューするヨーグルトマニア。全国の牧場・乳業メーカーを巡って独自に収集した情報をもとに、ヨーグルトにおける「乳」の魅力発信に力を注ぐ。
2022年「ヨーグルトの本」(エムディーエヌコーポレーション)著。
2023年 一般社団法人ヨグネット設立。

大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目 37 番 2 号 酪農会館
全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003

作品募集のお知らせ

第51回 らくのう
こどもギャラリー

① 募集規定

- (1)酪農を中心とした題材の図画（大きさ、技法は自由）
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、**題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名**を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。
- (4)作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

② 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。

③ 締 切 日

令和7年5月30日(金) (必着)

または、各地域会議締切日に準ずる。

④ 提 出 先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

⑤ 審査結果の発表

「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」の発表要旨、および全酪連会報7月号に審査結果を掲載いたします。

⑥ 褒 賞

- ・特 選 1点
 - ・入 選 4点
 - ・秀 作 若干
 - ・ファミリー賞 若干
- （牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます）
- ・あすなろ賞 若干
- （小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます）

◎入賞者には記念品を贈呈いたします。

◎図画の優秀作品は、作者の顔写真・審査講評と共に「全酪連会報」の最終ページに掲載します。



第50回 特選
「元気な牛」
菊地遥空さん

第15回 酪農いきいき
フォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

① テ ー マ

- (1)「乳牛のいる風景」
- (2)「酪農作業風景」

※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

② 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、**題名・氏名・振り仮名・住所・所属組合名**を必ず記載してください。
- (4)応募点数：お1人様1作品のみ

③ 応募資格

酪農家

④ 締 切 日

令和7年6月30日(月) (必着)

または、各地域会議締切日に準ずる。

⑤ 提 出 先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。または、全国酪農青年女性会議公式LINEでも応募可能

予定です。

詳細は決まり次第、全国酪農青年女性会議公式LINEで告知します。

酪農青年女性会議
公式LINE

@642bpcwk



⑥ 審査方法

応募作品を「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。

※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

⑦ 審査結果の発表

- (1)「第52回全国酪農青年女性酪農発表大会」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。（号数未定）

⑧ 褒 賞

- ・特 選 1点
- ・入 選 若干

◎入賞者には賞品を贈呈いたします。

◎提出していただいた作品の返却はいたしません。

◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動（「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーン含む）等で使用することがありますのでご了承ください。

福島県牛乳普及協会
令和5年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
全国各地の受賞レシピをご紹介します



牛乳だけで作れる桃のチーズケーキ

郡山女子大学附属高等学校
小針 遙香さん



材料

(材料：4人分)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ・牛乳 …………… 1,000ml | ・桃ジュース …………… 300ml |
| ・レモン汁 …………… 大さじ3 | ・桃果肉 …… 二つ割1個分 |
| ・卵 …………… 1個 | ・ダイスアーモンド …… 適量 |
| ・ラカント又はグラニュー糖 …………… 40g | ・ミント …………… 適量 |
| ・粉末寒天 …………… 8g | |

ポイント

カッテージチーズの水気を切る際に、さらし布を使用することでなめらかに仕上がる。

●作り方 ※オーブンを180℃に予熱しておく

A. カッテージチーズを作る

- ① 牛乳を鍋に入れ沸騰するまで加熱する。
- ② 火を止めてレモン汁を加え軽く混ぜる。
- ③ 目の細かいザルにさらしをしき②を包み水気を切る。

B. 生地を作る

- ① ボールに卵を入れハンドミキサーで混ぜる。
- ② ①にラカント又はグラニュー糖を入れさらに混ぜる。
- ③ ②にAのカッテージチーズを加え、なめらかになるまで混ぜ、牛乳と片栗粉を加えて混ぜる。

- ④ パウンド型に流し入れ20分～30分焼く。

C. 桃寒天を作る

- ① 鍋に粉末寒天と桃ジュースを入れ中火で煮溶かし、沸騰するまで加熱する。

- ② 桃をスライスする。

D. 桃のチーズケーキを作る

- ① Bに桃のをせ寒天液を流し入れ、冷蔵庫で固める。
- ② 冷やし固まったら型から取り出し、4等分にカットし盛り付ける。
- ③ ダイスアーモンドとミントを飾り完成。

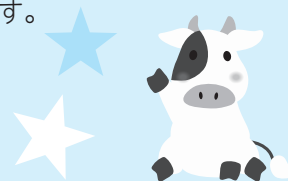
『特派員 報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思います。
ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : info@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岩谷 宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里塚17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>